



もみのきのきもち

訪問マッサージもみのき

検索

<https://www.fureiazumino.com>



施術者：望月



今回は、私がコロナ禍で体験したことをお話ししたいと思います。

長野県は感染者はいるものの、他の都道府県に比べて広がりをおさえられている県なのでは、と感じます。

毎日「感染予防策として「朝の検温」「マスク着用」「手洗い」「うがい」「アルコール消毒」を徹底的に行っています。



施設の利用者さんへの施設訪問時には、通常のコロナ対策に加えて、施設での感染予防策も行っていきます。

私含め、もみのき施術師は施設に何つと、「玄関での検温」「移動手段、住所、県外への往來の有無」などのチェックと記載をし、施設内へ入ります。

私は基礎体温が高めのため、夏場の体温管理はとて大変でした。

太陽のもと足早に歩いたり、急いで訪問した時に、表面温度が上がってしまったことが何度かありました。

冷やした飲み物を飲んだり、日陰で二呼吸したり、と外気温ではなく自分の体温にしてから行うようにしていました。また、マスクの上からフェイスシールド着用をお願いされた

施設さんもありました。

このフェイスシールドは、感染予防の対策の一つとして効果があるものです。ただ、弱視の私にとっては装着すると視界が狭くなり前面のプラスチックが曇ります。

私も見えづらいのですが、利用者さんからも「顔が見えない」と言われたり、さらに耳の聴こえづらい方とお話するときには、いつも以上に大きな声で話すため、自分の声が跳ね返ってしまうのと同時に自分の息でさらに曇ってしまいました(笑)

初めてフェイスシールドを使用した際に利用者さんが私を認識していただけず、なんともありませんでした。

そこで、フェイスシールドにもらない、口がでない程度にやや上げて、マスクとの間の通気性を保って曇らないようにして、施術をしながらでもなんとかお話できるようになりました。

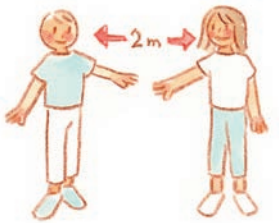
はじめは戸惑いもありましたが、やはり感染予防しながら施術もする事が大切です。後から考えると思い出して笑ってしまうようなことを経験した夏でした。

皆さんも例年になりにない対策をされているかと思いますが、

私も引き続き感染対策をしっかりと実施しながら、今まで以上に安全に、お体の状態がよくなるよう、マスクしていますが笑顔で施術を行っています。

いつまでこんな調子が続くかわかりませんが、小さなことでも工夫し、利用者さんに少しでも元気を届けられたら嬉しいです。

◎ ソーシャルディスタンスを守る。



✕ 密集・密閉・密接



今月の TOPICS

ペット紹介



きじとら
れおなると君
オス1才
チャームポイントは
童顔なところ

松本市M様

編集後記

皆さんからの元気になるようなお便りもお待ちしています。
可愛いわんちゃん猫ちゃん、季節のお花、珍しいお野菜、作品、お待ちしております。

「もみのきのきもち」編集委員会

ご利用者様の声



池田町 K様
94歳男性

心臓が弱くなって寝たきりになってしまったけど、マッサージしてもらっていい顔してくれてるよ。マッサージ終わって帰るときに「ありがとう」っていつてるしね。

ご家族様より



「クレマチス」
花びらが珍しいクレマチスですね。
「ルチカム」別名をオータムクロッカスと言います。
クロッカスと名前にもありますが、春の花とは全く別物で秋に咲くユリ科のお花です。
どちらも利用者さんのお宅に咲いていた、お花です。
「コスモス」
黒姫のコスモス園
少し早すぎて五分咲きでした。
秋の代名詞ですね。

今月のポイント

撮影者
北原